

(仮訳)

オーストラリア、フランス、ドイツ、日本、ニュージーランド、ポーランド、大韓民国、英国外相及び政府高官による共同声明(仮訳)

2026年9月22日

我々、欧州及びインド太平洋パートナーズ(EIPP)の外相及び政府高官——オーストラリア、フランス、ドイツ、日本、ニュージーランド、ポーランド、大韓民国、英国——は本日、ニューヨークで開催中の国連総会のマージンにて、二度目の会合を行った。我々は、2025年9月の前回会合以降、戦略的環境がより不安定かつ分断化したものとなっていることを認識する。

我々の協力は、民主主義、法の支配、人権及び国際法を含む共通の原則と利益に根ざしていることに留意する。我々は、結束することで、インド太平洋及び欧州地域における平和、安定、持続可能性及び繁栄を効果的に促進することができる。また、国連加盟国はこれらの目標に貢献できるし、そうすべきであるとの信念を再確認する。

我々は、国際司法システムを含め、国連憲章を中核とする国際法に基づく多国間システムを守り、強化するとの決意を堅持する。我々は、国連の組織強化及びその効率性と強靱性の向上に向けた国連改革を推進するため、連携して取り組んでいく。

我々は、欧州及びインド太平洋における安全保障と繁栄がますます相互に結びついていることを認識し、共通の課題への対応における協力を強化することを誓約する。我々は、あらゆる領域にわたるハイブリッド脅威に対抗し、我々の社会の強靱性を確保していく必要性を再確認する。

我々は、全ての国家の主権と領土保全への支持を再確認する。我々は、ロシアによるウクライナへの侵略に関し、完全な停戦の重要性を強調するとともに、公正かつ永続的な平和に向けた真摯な交渉にロシアが応じるよう求める。

我々は、インド太平洋における平和と安定を維持することの重要性を強調する。我々は、対話を促し、台湾海峡におけるあらゆる一方的な現状変更の試みに反対する。

我々は、国連海洋法条約(UNCLOS)を堅持するとの共通のコミットメントのもと結束する。ホルムズ海峡及びバブ・エル・マンデブ海峡を含め、力、威嚇、又は通過に際する違法な通航料や条件の導入によるシーレーンの混乱は、特に世界で最も脆弱な立場にある人々を含め、全ての人々の安全と繁栄を脅かすものであり、受け入れられない。我々は、いかなる場所においてもこのような事態が生じた場合にも、全ての国が声を上げるよう求める。